

事業所管部局による点検					
	評価	項目	評価に関する説明		
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地震など大規模自然災害が発生し、東京電力からの電力供給が絶たれた場合においても、緊急事態対応センター（ERC）の運用、情報システム等の稼働を維持し、緊急事態対応を継続するため、電力供給を行うための非常用発電機を設置することは、優先度が高く、国が実施すべき事業である。		
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。			
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。			
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	非常用発電機を設置するために、必要な費目を計上している。		
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。			
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。			
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。			
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。			
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名			
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
点検結果		原子力規制委員会が「原子力事故等による災害の防止」（環境省設置法第4条第26号）というその役割を果たすべく、東京電力からの電力供給が絶たれた場合においても、緊急事態対応センター（ERC）の運用、情報システム等の稼働を維持し、緊急事態対応を継続するため、電力供給を行うための非常用発電機を設置することは、国民から求められていることであり、当該事業を着実に実施すべきである。			
予算監視・効率化チームの所見					
		競争性を確保しつつ、より効果的な事業となるように事業を実施すること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）					
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年行政事業レビュー		－	平成23年行政事業レビュー		－